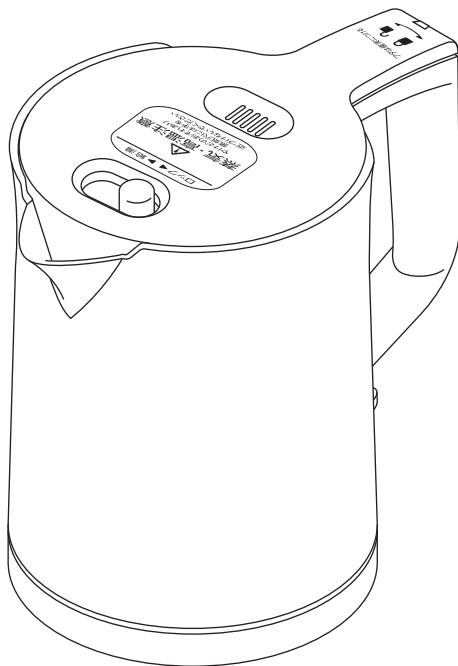


家庭用

pitapot

電気ケトル「ピタポット」0.8L

品番 PO-377



※この製品は日本国内用に設計されておりますので、国外では使用できません。(FOR USE IN JAPAN ONLY)

取扱説明書 保証書付

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書を最後まで
必ずお読みいただき、正しく安全にご使用
ください。

お読みになった後は、いつでも見られるよう
大切に保管してください。

目 次

安全上のご注意	1～3
使用上のお願い	3
各部の名称	4
ご使用前に	5
ご使用方法	6～7
お手入れ方法	8
故障かな？と思ったら	9
アフターサービスについて.....	10
仕様	10
保証書	裏表紙

※本書に記載されているイラストはイメージです。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
以下の警告マークを表示している事項はいずれも安全に関する重要な内容です。
必ずお守りください。

※給電スタンドのコードに貼られている警告シールは、ご使用の際の危険や注意を促すものです。はがさずにご使用ください。

警告マークの種類	警告マークの内容
 危険	人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が重傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容

 禁止 してはいけない内容	 指示 実行しなければならない内容
---	---

 危険	
 禁止	●電源コネクタ部分に金属製クリップやヘアピンなどの異物を接触させない。 感電・ショート・発火の原因になります。 ●ガス火にかけたり、電気ヒーター・電磁調理器・電子レンジなどで使用しない。 火災・変形・故障の原因になります。

 警告	
 禁止	<電源プラグ・コードについて> ●電源プラグ・コードを傷つけない、引っばらない、無理に曲げない、ねじらない、束ねない、はさみ込まない、重いものをのせない、加工しない。 発熱・火災・感電の原因になります。 ●電源プラグやコードが痛んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 ショート・発火の原因になります。 ●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。 感電・ショート・発火・けがの原因になります。
 指示	●電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。 プラグにほこりなどがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。 ●定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用する。 他の機器と併用すると分岐コンセント部が発熱し、火災や故障の原因になります。 ●電源プラグは根元まで確実に差し込む。 ●使用中、電源プラグやコードが異常に熱くなるときは、ただちに使用を中止する。

安全上のご注意



警 告



禁止

<お取扱いについて>

- 絶対に分解・修理・改造をしない。
発火・感電・けがの原因になります。
- 本体底部や給電スタンドに水をかけたり、水に浸けたり、水洗いをしない。
- 小さな子供だけで使用させない。また、乳幼児のそばで使用したり、手の届くところに置かない。
- 自分で操作できない人や、補助を必要とする人、取り扱いに不慣れな人だけで使用させない。
けが・やけど・感電の原因になります。
- 火やストーブなど熱源のそばや、直射日光のあたる場所で使用しない。
発熱・発火・故障などの原因になります。
- 風呂場などのぬれた場所・高温多湿になる場所での使用は絶対にしない。
感電・ショート・発火の原因になります。
- 「MAX/0.8L」目盛り以上の水を入れない。
お湯がふきこぼれ、やけど・感電のおそれがあります。
- 湯沸かし中、湯沸かし直後は蒸気穴に顔や手を近づけない。
熱い蒸気が出るため、やけどのおそれがあります。
- 湯沸かし後に本体を抱きかかえたり、傾けたり、転倒させたり、ゆすったりしない。また、ハンドル以外を持って移動しない。
給湯スイッチを「ロック」にしている場合、傾けたり倒したりすると、お湯が流れ出てやけどをするおそれがあります。
- 不安定な場所や熱に弱いもの（ビニールマットなど）の上や可燃物（カーテンなど）の近くで使用しない。
- 湯沸かし中は移動させない。
本体が倒れてお湯がこぼれやけどをするおそれや、火災などの原因になります。
- フタをはずしたり、確実に取り付けていなかったり、給湯スイッチが「給湯」の状態では湯沸かししない。
自動電源オフ機能が正常に働かなくなったり、倒れたときに熱湯がこぼれるなどしてやけどをするおそれがあります。
- 蒸気口をふきんなどでふさがない。
お湯が吹きこぼれたり飛び散ったりして、やけどをするおそれがあります。
- 湯沸かし中・湯沸かし直後はフタを取りはずしたり、さし水をしない。
お湯が飛び散ったり、高温の蒸気が出てやけどをするおそれがあります。
- 湯沸かし後に本体を持ち運ぶときは、フタ開閉レバーに触らない。
フタがはずれて、やけどやけがのおそれがあります。
- 氷を入れて保冷用として使用しない。
氷や冷たい水を入れると結露が生じ、感電・故障のおそれがあります。



指示

- 給電スタンドのコードに手や足が引っかからない場所に設置する。
コードが引っばられると、その勢いで本体が倒れてお湯がこぼれ、やけどをするおそれがあります。

安全上のご注意

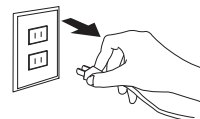
⚠ 注 意



指示

<電源プラグ・コードについて>

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず先端の電源プラグを持って抜く。
コードを引っばると破損して、感電・ショート・火災の原因になります。
- 使用後やお手入れをするときは、電源プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化などによる感電・漏電火災の原因になります。



⚠ 注 意



禁止

<お取扱いについて>

- 水道の蛇口から直接水を入れない。
本体外側に水がかかったり、内部に水が入ると、ショート・感電・故障の原因になります。
- 水以外のもの(お茶・牛乳・お酒・ティーバッグ・インスタント食品など)を入れて沸かさない。
泡立って吹きこぼれ、やけどや故障・汚れの原因になります。
- 水またはお湯が入っていない状態で電源を入れない。
空だき防止機能が働き電源は切れますが、内部のプレート部分が熱くなり、やけどや故障の原因になります。
- 専用の給電スタンド以外は使用しない。また、給電スタンドを他の機器に使用しない。
故障・発火の原因になります。
- 壁や家具の近くで使用しない。
蒸気や熱で壁や家具が変色、変形する原因になります。収納棚などで使用するときには、中に蒸気がこもらないようにしてください。
- 落としたりぶつけたりなど強い衝撃を与えない。
破損・故障・短寿命の原因になります。
- 湿気の多い場所、ペットが通る場所では使用しない。
変形・故障・事故・火災などの原因になります。



指示

- 異臭・発熱・変形・変色など、今までと異なることに気がついたときはただちに使用を中止する。(発煙・発火の原因になります。)
- お手入れは使用直後をさけ、ケトル本体が冷めてから行う。
やけどをするおそれがあります。
- 破損した際は、けがをしないよう十分注意する。
廃棄する際は、お住まいの自治体の指示に従い分別してください。

使用上のお願い

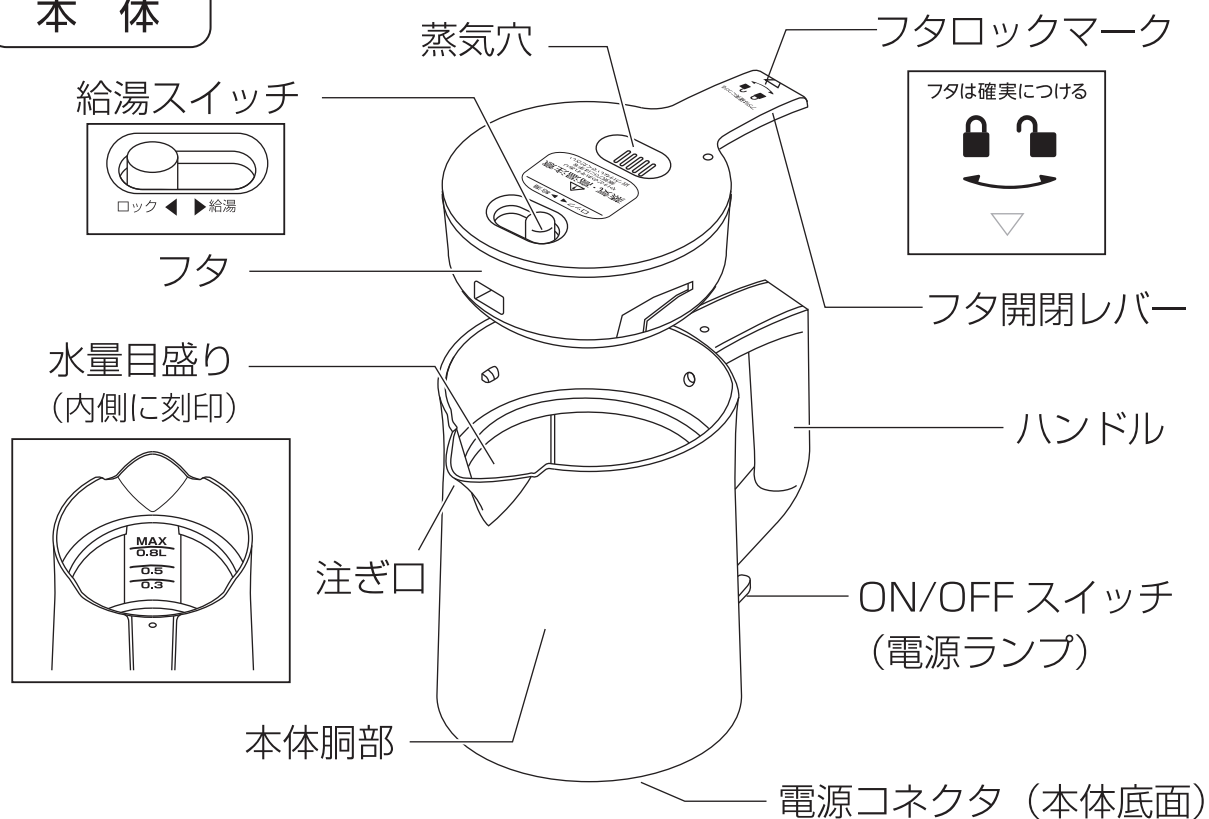
- 本製品は一般家庭用です。業務用としてや、湯沸かし以外の目的には使用しないでください。
- 必ず屋内で使用してください。 ●日本国内のみで使用してください。
- 湯沸かし専用の電気ケトルです。電磁調理器や直火でのご使用はできません。
- 本製品に保温機能はついておりません。
- 備長炭など、水質改善材や浄化材を入れて使用しないでください。

各部の名称

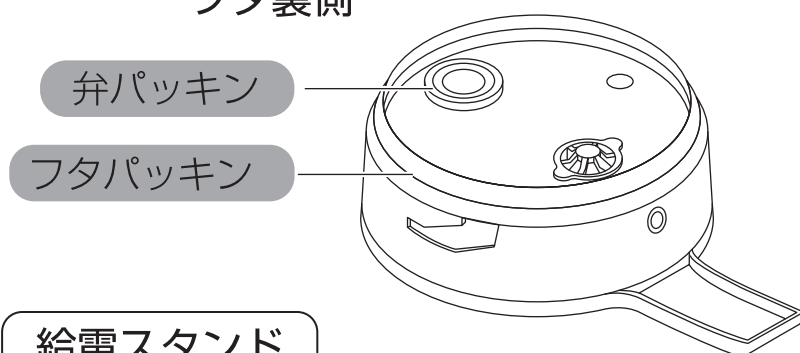
ご使用前にご確認ください。 **電源コード** は消耗品です。

※本製品は転倒湯漏れ防止構造になっておりますが、完全に湯漏れを防止することはできません。

本 体



フタ裏側

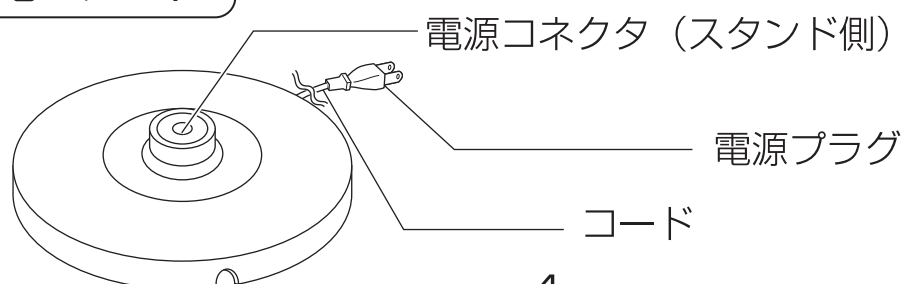


弁パッキン・フタパッキンは、
以下のようなになったら交換してください。

- ・変色してきた。
- ・汚れや破損がある。
- ・フタの隙間から蒸気が漏れる。

(P8「お手入れ方法」内の「パッキンの交換」をご参照ください)

給電スタンド



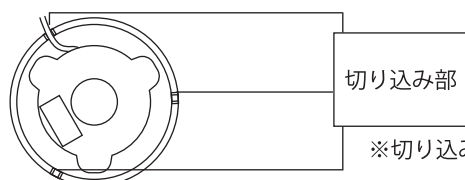
製品の詳細は
こちら



ご使用の前に

① コードをセットする。

余分なコードを給電スタンドの底面に巻いて長さを調整し、切り込み部から外に出してください。



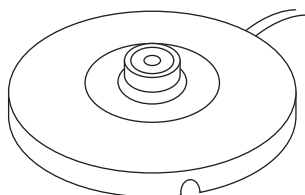
※切り込み部は3箇所あります。

⚠ 注 意

- 切り込み部にコードをきちんとセットしていないとがたついて不安定になり、本体が倒れ、お湯がこぼれてやけどをするおそれがあります。

② 給電スタンドを置く。

清潔で平らな安定した場所に置いてください。



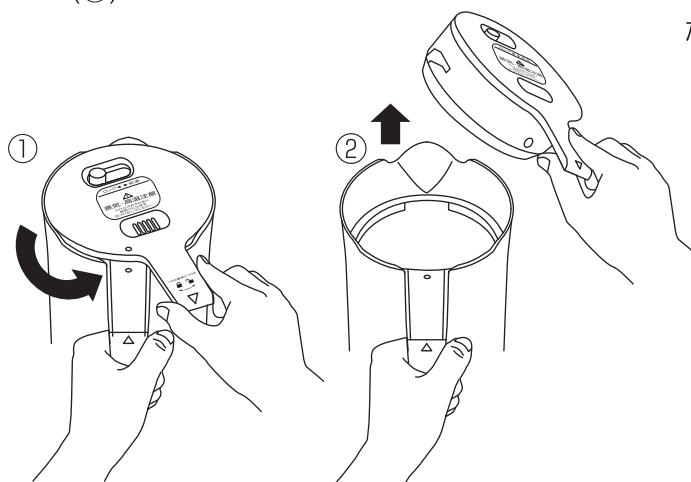
⚠ 注 意

- 水がかかる場所に置かないでください。
感電・ショート・発火などの原因になります。
- 不安定な場所や乳幼児の手が届く場所に置かないでください。本体が倒れ、お湯がこぼれてやけどをするおそれがあります。

③ フタのはずし方・取り付け方

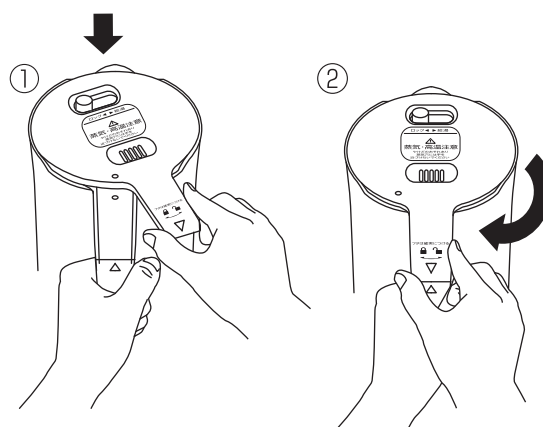
はずすとき

ハンドルを押さえてフタ開閉レバーを持ち、フタロック解除マーク「」の矢印の方向へ回します。(①)
フタを持ち上げて取りはずしてください。(②)



取り付けるとき

フタの「○」マークを本体の「○」マークに合わせてかぶせ(①)、フタロックマーク「」の矢印の方向へフタが止まるまでしっかりと回してください。
取り付け後は、フタの「▽」とハンドルの「△」が合っていることを確認してください。(②)



※フタロックは給湯をロックするものではありません。

⚠ 注 意

- フタが確実に取り付けられていない状態で湯沸かしをすると、自動電源オフ機能が正常に働かない原因になります。また、お湯を注ぐときにフタがはずれてやけどなどのおそれがあります。

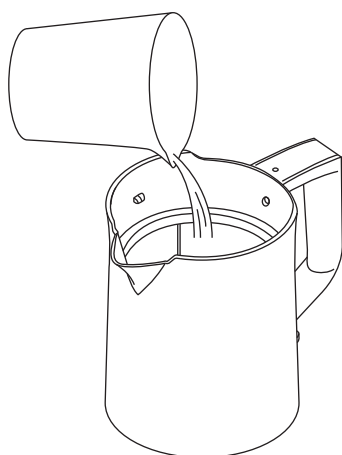
ご使用方法

- はじめて使用する際は、P6～P7「ご使用方法」の要領で一度お湯を沸かし、そのお湯を捨ててからご使用ください。

※まれに、本体内側に水滴のあとがついていることがありますが、これは検品で使用した水に含まれているミネラル成分によるものです。衛生上問題ありませんのでご安心ください。

① フタをはずし、本体に水を入れる。

- 別の容器を使って入れてください。

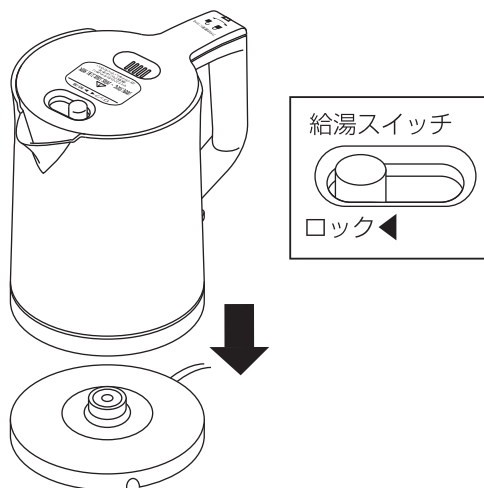


△ 注 意

- 水を水道の蛇口から直接入れないでください。
- 水を入れるときは、本体外側に水がかからないようにしてください。
- 「MAX/0.8L」目盛り以上の水を入れしないでください。水を入れすぎると、吹きこぼれるおそれがあります。また、少なすぎると自動電源オフ機能が正常に働かないことがあります。
※140ml～0.8L(最大容量)の範囲内でご使用ください。
- 給電スタンドの上に本体をセットしたままの状態、水を入れしないでください。故障や感電などの原因になります。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用すると、ミネラル成分が本体内側に付着しやすくなります。

② フタを取り付け、本体を給電スタンドの上へセットする。

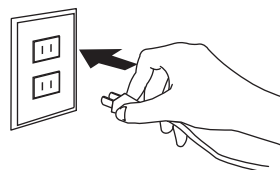
- 必ず給湯スイッチを「ロック」にして、フタは確実に取り付けてください。
(P5-3 フタのはずし方・取り付け方「取り付けるとき」)



△ 注 意

- 給湯スイッチがロックの位置にあるか確認してください。
- 給電スタンド・電源コネクタ部に異物をはさまっていないこと、また、給電スタンド・電源コネクタがぬれていないことを確認してからセットしてください。
感電・ショート・故障の原因になります。
- 蒸気穴を壁や家具などに近づけないでください。
蒸気などにより、変色・変形の可能性があります。
- 本体が安定していることを確認してから手を離してください。

- ### ③ 「ON/OFF」スイッチがオフになっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込む。



※根元まで確実に差し込んでください。

ご使用方法

4 電源を入れる。

- ON/OFF スwitchをオンにすると電源ランプが点灯し、湯沸かしが始まります。
- コーヒー 1 杯分 (約 140ml) のお湯を沸かすのに約 1 分 20 秒です。
※水温・室温によって変わります。
- 本製品に保温機能はついておりません。

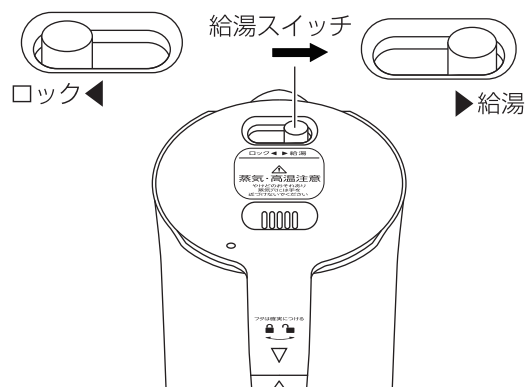


△ 注 意

- 湯沸かし中・湯沸かし直後は、注ぎ口周辺・フタ・本体胴部は非常に高温となります。また、蒸気口からは熱い蒸気が出ます。手や顔を近づけないでください。
- 湯沸かし中・湯沸かし直後は、絶対にフタを取りはずさないでください。高温の蒸気やお湯がふき出し、やけどをするおそれがあります。

5 お湯を注ぐ。

- 沸騰すると自動で電源が切れます。ON/OFF スwitchがオフになり、電源ランプが消灯していることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 沸騰状態がおさまってから給湯スitchを「ロック」から「給湯」にし、ハンドルをしっかりと持ちゆっくり傾けてお湯を注ぎます。



△ 注 意

- お湯を注ぐ前に、フタが確実に取り付けられてことを必ず確認してください。お湯を注いだときにフタが落ちるなどしてやけどをするおそれがあります。
- お湯を注ぐ際はハンドル以外の部分に触らないでください。
- 蒸気口から熱い蒸気が出るので注意してください。
- 勢いよくお湯を注いだり、本体をハンドル側に傾けたりしないでください。注ぎ口以外からお湯が出るなどして、やけどをするおそれがあります。
- 本体が冷めるまでハンドル以外の部分に触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- お湯を注いだ後は、給湯スitchを「ロック」にしてください。

残り湯は捨ててください。

- 本体内側の汚れやにおいの原因になりますので、使い残したお湯は捨ててください。

お手入れ方法

⚠ 注 意

- 必ずコンセントから電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う。
- シンナー、ベンジン、みがき粉、漂白剤、クレンザー、金属たわし、化学ぞうきんなどは使用しない。
- 本体・給電スタンド・フタは丸洗いをしない。また、食器洗浄機や食器乾燥機を使用しない。
- 本体内側を水洗いしたときは乾いた布などで拭き取り、よく乾燥させる。また、ドライヤーなどの熱風で乾かさない。

本体外側・給電スタンド・フタ

頻度：汚れが目立ってきたとき

- 1 湿らせて固くしぼった布で汚れを拭き取る
汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を少量含ませた布で汚れを拭き取ってください。
- 2 乾いた布で水分を拭き取り、よく乾燥させる

熱や蒸気に触れる樹脂部分は、ご使用にともなって傷んでくる場合があります。
安全な材質を使用しておりますが、表面が変色したりざらざらしてきたら、交換することをお勧めいたします。

本体内側

頻度：ご使用毎

- 1 水でよくすすぎ、内側を乾燥させる。
本体内側の汚れ（白い浮遊物、赤や白の斑点状のもの、虹色の変色など）は、水に含まれるミネラル成分の作用によるものです。衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきたら定期的に下記のクエン酸での洗浄を実施してください。※ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは、こまめにお手入れをしてください。

クエン酸洗浄方法

頻度：汚れが目立ってきたとき・月1回程度

- 1 水を「MAX/0.8L」目盛りまで入れ、その中にクエン酸を30g程度入れてかき混ぜる。
- 2 フタを閉めて電源スイッチを入れて沸騰させ、電源が切れてから約1時間放置する。
- 3 お湯を捨て、水でよくすすぐ。汚れが残っている場合にはやわらかいスポンジ等で拭き取ってからすすぎ、内側をよく乾燥させる。
クエン酸のにおいが気になる場合は、再度水だけを入れて沸騰させ、お湯を捨ててください。

パッキンの交換

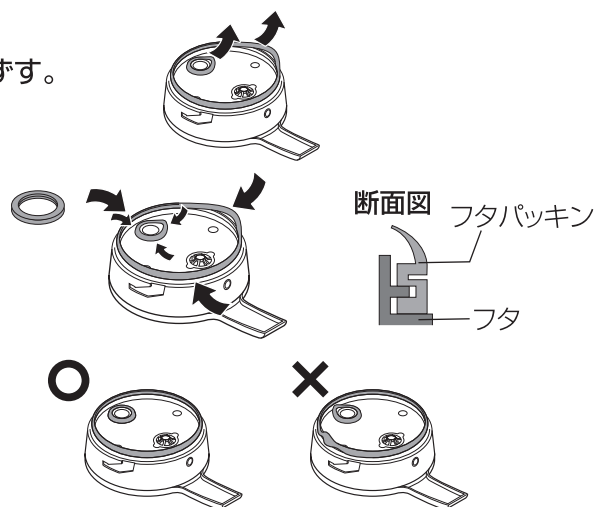
パッキンのご購入は「ドリテック お客様サポート」よりお問い合わせください。
(P10「アフターサービスについて」)

フタパッキン・弁パッキンの取りはずし方法

フタを押さえて、フタパッキン、弁パッキンを取りはずす。

フタパッキン・弁パッキンの取り付け方法

- 1 パッキンを、フタまたは弁に引っかける。
フタパッキンは向きに注意してください。
- 2 パッキンを指でなぞるようにしてはめ込む。
確実にはまっていることを確認してください。



⚠ 注 意

- パッキンがずれていたり、波打った状態で使用しないでください。蒸気が漏れたりお湯が流れ出るなどして、やけどのおそれがあります。
- フタパッキン・弁パッキンは必ず取り付けて使用してください。

故障かな？と思ったら

こんなときは	原因	対策
電源が入らない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない。	電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。
電源スイッチをオンにできない	沸騰直後で、センサーが高温状態にある。	しばらく電源オフの状態から電源を入れてください。
お湯が沸いても自動で電源が切れない 沸騰するまで時間がかかる	フタが確実に取り付けられていない。	フタを確実に取り付けてください。
	給湯スイッチを「給湯」にした状態になっている。	給湯スイッチを「ロック」にしてください。
	水の量が少ない。	水の量を増やしてください。 140ml～「MAX/0.8L」目盛り以内で使用してください。
お湯があふれる 吹き出す	「MAX/0.8L」目盛り以上の水を入れて湯沸かしをした。	水の量を「MAX/0.8L」目盛り以下に減らしてください。
	水以外のものを入れた。	水以外のものを入れて沸かさないでください。
沸かしたお湯がにおう	水道水に含まれる塩素の量によりカルキ臭が残ることがあります。お茶などをおいしくいただくときは、浄水を使用されることをお勧めします。	
	使いはじめのうちはにおいがすることがありますが、ご使用されているうちににおいは少なくなります。	
使用後しばらくすると音がする	熱せられた部品が冷めるときに音が発生することがあります。	
使用後、給電スタンドに水滴がつく	沸騰したときの蒸気を感じて電源がオフになる構造になっているため、冷えた蒸気が水滴となり、本体底面の排水口から排水されることがあります。	

長年ご使用の電気製品の点検のお願い

定期的に「安全上のご注意」、「ご使用方法」を確認してください。長年のご使用などの影響で製品が劣化し、故障や事故につながる場合があります。

こんな症状はありませんか？

- 電源プラグ・コードに損傷が見られる。
- 電源プラグ・コードが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 本体が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- 本体から水が漏れる。
- その他異常・故障がある。

ご使用中止！！

故障や事故防止のため、使用を中止して、電源プラグを抜いて、販売店などに点検・修理をご相談ください。

お客様ご自身での修理は大変危険ですので、絶対にしないでください。

アフターサービスについて

修理やお取扱いのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1.修理を依頼される時

- 「故障かな?と思ったら」をご確認いただいても異常のあるときはご使用を中止し、修理をご依頼ください。
- 保証期間中は、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
保証書の記載内容にそって修理いたします。
なお、製品修理以外の責任はご容赦ください。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって使用できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

2.アフターサービスについてご不明な場合

- お買い上げの販売店または、「ドリテック お客様サポート」よりお問い合わせください。

輸入販売元 株式会社 ドリテック

〒 333-0811 埼玉県川口市戸塚2-11-8

URL : <https://www.dretec.co.jp>



仕 様	
品 番 / 品 名	PO-377 / 電気ケトル「ピタポット」0.8L
寸 法	約 幅 22.5× 奥行 15.0× 高さ 20.0 cm （給電スタンドを含む）
質 量	本体のみ：約 0.7 kg 給電スタンド含む：約 0.9 kg
電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	1000W
最 大 容 量	0.8L
電源コード長さ	約 80cm
材 質	本体：ポリプロピレン 給電スタンド：ポリプロピレン

※製品の仕様は改良などのため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。

本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店へご相談ください。

品番	P0-377		
保証期間	お買い上げ日より 1年間 ※消耗品を除く	持込修理	
お買い上げ日	年	月	日
お客様	お名前 ご住所 お電話		
販売店*	販売店名 ご住所 お電話		

販売店様へ：*欄は必ず記入してお渡してください。

〈保証規定〉

- 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常なご使用状態で故障した場合には本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - ※誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等による故障または損傷。
 - ※ご使用上に生じる外観の変化。
 - ※本保証書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
 - ※本保証書のご提示がない場合。
 - ※一般家庭以外（例として、商用としての使用）に使用された場合の故障および損傷。
- 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 安全上のご注意を守らないことにより損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いません。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますのでご了承ください。また、法令の定めのある場合を除き、事前の同意をいただくことなく、上記の目的以外には利用いたしません。

輸入販売元 株式会社 ドリテック

〒 333-0811 埼玉県川口市戸塚2-11-8

URL : <https://www.dretec.co.jp>